

DOYU

あおもり

2021 Dec

12

vol.248



- 02 研修会報告
- 03 経営研究集会報告
- 05 企業紹介
- 09 委員会活動報告
- 11 共に生きる障がい者問題委員会コラム
- 12 新会員紹介／編集後記

気持ちアがる！中堅社員さんのための ステップアップ研修会



第1講（10月1日）

オリエンテーション、

コミュニケーション研修

第2講（10月15日）

3Sから学ぶ仕事術

第3講（11月5日）

研修のまとめ・実践に向けて

参加人数11社14名

講師…岡部 あゆみ氏

今回の中堅社員研修会は全3講、1講当たり3時間程度の時間で行われました。私は企業で働く社員の成長こそが企業の発展につながると考

えているおり、社員に受講してもらうことにしました。

弊社での令和3年度の新入社員の採用状況は、高校の新卒で現場社員を2名採用、来期も新卒で2名を採用予定です。若い現場社員にタイل張りの楽しさや働く魅力を伝えるために、まずは今働いている先輩社員のコミュニケーション能力向上などスキルアップが必要だと感じていました。そこで私自身も所属する社員共育委員会で「中堅社員さんのためのステップアップの研修会」が開催されることとなり、季節的に繁忙期ではありましたが、今回幹部社員2名が参加しました。

全3講を通して講師の岡部さんご自身の体験談やご家族に関する身近な内容を交えたお話が多く、参加者も共感が持つことができ、とてもリラックスした雰囲気でした。14名が3テーブル分かれて討論し、いくつかの議題に関してテーブルワークが行われ、参加者の皆さんは真剣さの中に時折笑顔を見せながら、新しい気づきや発見があったように思います。

弊社から受講した社員の感想は「（第1講）みんな考え方や価値観が違い勉強になりました。話すことが得意ではないですが、今回の研修を通してベテラン社員と若手社員の架



け橋となれるようにコミュニケーション能力を高めたのです」（第2講）自分の働く職場がきれいだ仕事の実感があり、社員のやる気も出るのかなあと感じました。周りにゴミが落ちていたら拾うようにしたいです」という前向きな言葉を聞くことができ、経営者として嬉しく思います。

今回の研修は明日からでも実践できるような解り易い内容だった為私も勉強になりました。そして社員と研修という時間を共有できたことが次のステップアップへ繋がる良いきっかけとなりました。

研修会は私の方から社員へ参加を呼びかけましたが、二つ返事で参加してくれる現場社員がいるという事はとてもありがたい事です。これからも社員と共に育つ企業づくりを進め、働く社員が輝き、安心して働いていける企業を目標に邁進してまいります。

記…（株）木村タイル工業・木村 稔

屋根・外壁・リフォーム工事
板金工事の専門会社です。

 有限会社 工藤板金工業

〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼 22-17
TEL 0178-29-1855 FAX 0178-29-1833
<http://www.kudou-bankin.co.jp/>

経営研究集会

経営研究集会 実行委員長あいさつ

(有) 岩木建設

代表取締役 岩木 勝志

この度は第20回の経営研究集会にたくさんのご参加をいただきありがとうございます。新型コロナウイルスの影響が大きい中、130名以上の方に参加登録頂いたことは、基調講演の講師の田嶋伸博さんをはじめ、分科会報告していただいた川上秀朗さん、池田右文さんの事業展開への関心の高さの現れであったと思います。20回の節目の経営研究集会は「呼び起こそう、熱き想いを！向かおう、明日へ！」をスローガンに準備を重ねました。オンライン配信でのトラブルなどもありましたが、ご参加の皆さん、そして実行委員の皆さんのおかげで無事に終えることができました。改めて感謝申し上げます。



「モンスタードライバー」が 挑戦した人生

(株) タジマモーターコーポレーション

代表取締役会長兼社長 田嶋 伸博 氏



71歳にして現役レーシングドライバーであり、経営者でもある田嶋伸博氏を招いての経営研究集会。十和田、緊急事態宣言解除直後にも関わらず盛会に終わる事が出来ました。支部長としてとても嬉しく思います。

田嶋氏の基調講演の多くは実業に関する事でしたが、そこから見えてきた経営者としての要諦は「とにかく世界」「強みはスピード」「ピンとキリをやる」と、シンプルながらもビジョン・強み・事業領域が明確なことです。更には田嶋氏自身がレーサーとして、まさに命を賭けて夢に向かい走っている姿、感動を発信し続けていること。だからこそ、そこに社員さんや仲間が集い、大きな渦をつくり会社の成長につながっているのが解りました。

また、自社の事業と地域振興の結びつきや、未来へ向けた事業展開を実例として聴けた事はとても勉強になりました。

私は同友会で学び、全社一丸体制による理念経営の実践を目指していますが、田嶋氏の講演から、今の自分に足りないものはなにか、気付かされたように思います。

田嶋氏には事前に(同友会らしい)質問を投げかけてありました。それに対する回答も用意してくれていたようですが、時間の関係でそれを話せなかったと残念がっていました。会場の全員が熱心に話を聴いてくれたことを嬉しそうに驚いていました。

沢山のご参加、有り難うございました。

記：ササキ石油販売(株)

佐々木 佳弘



- モニュメント
- デザイン
- ネオン
- サイン

ART DESIGN

株式会社

アイサイン

Call 0172-62-5508 Fax 62-5516

Office 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢西花岡82-1
URL <http://www.ai-sign.com> MAIL aisign@infoaomori.ne.jp



私たちはエネルギーを追求し、くらしのゆとりを育てる企業を目指します。

ササキ石油販売株式会社

本社：十和田市大字奥瀬字小沢口425-3
☎0176-72-2026(代) sasaki-gs.com

十和田湖町CS (0176-72-2026) A.M.1CS (0176-25-2311)
車検・東北運輸局認証自動車整備工場・LPガス・灯油・重軽油
各種住宅設備機器・水道設備工事・太陽光発電システム

経営研究集会

第1分科会 「不良から優良へ、 優良から超優良へ！」



川上塗装工業(株)
代表取締役 川上秀郎氏

「守りたいのは子供達の笑える未来！」と語り、SDG Sとリンクした理念の元、



様々な取組をしてきた。現在力を入れているのは、省エネ化をはかった特殊塗料の普及。

15歳でマグロ漁船に乗り、とても辛いがこれを持ち切れば何でもできると思った。職を転々とする中で出会った人生の師匠からは、「任せてゆつくり待つ」事を学んだ。大きな事故に合い転機が訪れ起業した。

数量はあるが単価が低い下請け98%から、付加価値の高い装飾塗装など元請け100%へ変化した。これ以上伸びる為には社長が学ぶ事と社員から指摘を受ける。その結果、社長が変わり社員が変わり会社が変わった。

寄せ集めでもそれぞれが持ち場を守り、みんなで力を合わせれば必ず明るい未来がある。これからも建築業界を変える商品開発など、より多くの人に良い影響力のある取り組みをし、日本一喜ばれる「超優良」を目指す。



記..木村 美栄子

キーワードから 生まれる新たな ビジネススタイル 「形にとらわれない福祉」



(株)池田介護研究所
代表取締役 池田右文氏

東京の大手ホームヘルパー会社勤務の後、結婚を機に青森へ、2013年に独立し池田介護研究所を立ち上げました。介護は、今の高齢者、10



年後・20年後の高齢者のニーズは全て違い、そのニーズに合わせていかなければいけないと考えており、介護をするという事は、生活するためにただ手伝うのではなく、健康に不安があっても元気なところまで戻せないか、介護をしながら自立できる方法が無い(生涯現役)を考えている。そして諦めていた夢を人生最後まで実現できる1つのきっかけをつくりたいということが池田さんの想いです。

「健康と美」、「趣味」、「生活」、「お仕事」をキーワードに様々な事業を展開しており、「お仕事」では利用者さんの経験を活かして、農業を行い、野菜を収穫するだけではなく加工販売、お弁当販売やカフェという所まで利用者さんと一緒に事業を発展させています。また今後高齢者だけではなく子どもから大人、障がい者と健常者すべての人が明るく楽しく暮らせる環境を新しい事業も計画しています。最後は池田さん自ら池田介護研究所の想いが込められた社歌を歌って頂きました。



記..大和 英樹



もっと素敵に環境創造



総合建設業
株式会社

大坂組

〒030-0933

青森市大字諏訪沢字岩田51-1

電話 (017) 726-2461

FAX (017) 726-7009

運輸部 (017) 726-7007

会員企業紹介

「事業の定義を明確にしたら、
やるべき事が見えてきた」

有限会社静岡屋

代表取締役 **金 山 明 弘** さん

所在地：青森県八戸市大字湊町字新井田道 30-16
従業員数：26 名



「どんな会社ですか？」

弊社は静岡出身の祖父が昭和29年に創業した会社です。その当時東北地方では出汁（だし）と言えば煮干しが中心で鰹節は馴染みが薄かったのですが、出身地の鰹の削り節で勝負しようと考えたようです。初めは苦勞したようですが、ホテルや飲食店への業務用の卸売業としてお客様も増え、父の代でもそれなりに景気が良く、従業員も10名ほどいました。

私はバブル後、景気が悪くなり、当時の社長であった父が怪我で仕事ができない状態になったのをきっかけに入社しました。2008年、22才でした。当時の弊社の経営状態は非常に悪く、10期連続赤字で父母と自分を除くと社員は年配の2名だけになっていました。当時は若さを武器に仕事を覚えて、ガムシヤラに売っていくという答えしか持っていませんでした。

2011年の震災で会社倉庫が被災し数千万円の在庫を失い、社員も家族と親戚だけになり、とにかく何か動き出さなくてはと考え、料理好きの母と直接お客様に販売できる「ご飯のお供、手作りセット」を生む「かけ」を開発しました。でも新しい商品はできたものの、今後この会

社をどんな会社にしたのかというイメージがありませんでした。自分とはにかく売るという事を考えていましたが、同時に今までの体質のままではダメだ、変わらないとダメだと考えるようになりました。

そんな時、指針を創る会のお誘いを受け2013年、第12期生として修了しました。この創る会で私にとって一番大きかったのは、「自社は何屋なのか？自社の事業をどう定義するのか」という事を明確にすることができたことです。創業者の想いや考え方、行動を土台に未来を見て、乾物屋でもなく、煮干し屋でも鰹節屋でもない「だし屋」と定義したことで会社をどう経営していくのかが見えたような気がします。

「どんな取り組みを
してきましたか？」

まずは町工場からの変革を考え、衛生管理に着手しました。自治体のA・H・A・C・C・Pという衛生認証を取得しことで海外との商談がスムーズにいくようになりました。現在はアメリカや台湾などへ輸出もしており、他のアジア圏での商談も進んでいます。

また、「だし屋」という商品のこ

ASSETU
水回りの問題、迅速解決!!
もう、水まわりの心配はさせません。
☎ 017-766-2421

私たちは、夢と安らぎのある生活空間創りをもって
地域に貢献します。
鈴木建設工業株式会社
〒033-0062 三沢市新町三丁目31番地2201
tel. 0176-53-3078 fax. 0176-53-9800 suzukikensetsu.co.jp



だわりとアピールを明確に打ち出したことで、県が県民の健康寿命の延伸に向けて取り組んだ「だし活、健活、減塩推進事業」へ参画の聲がかかり、「できるだし」商品開発製造へと繋がっていきました。

元々業務用卸のみの商売から小売り用商品の販売が増えたことで、売り上げも伸びてきました。しかし一部を除きほとんどが問屋を経由する「卸売」に変わりはなく、粗利率は低い状態でした。この頃から、ただ売り上げを大きくするだけではなく、経営安定のため粗利確保が大事だと思ふようになります。

粗利の向上を目的に次に挑戦したのが小売用直販事業です。ECサイト（現在は3店舗）を立ち上げ、前出の「生ふりかけ」をはじめ、新たに「だし醤油の素」など商品を開発し、安定的な売上粗利を確保するために事業を育てています。

最近では「だしラーメン」の店をオープンしました。飲食店経営への挑戦です。自社では良いものを作っている自負を持っていますが、「だし」の魅力が広く伝わるにつれて大手企業の参入によって価格競争に巻き込まれてきています。だったら自社の消費者を自分たちで作り出そうという考えが元になっています。将

来的に店舗が増えれば、だしの安定供給Ⅱ売上粗利の確保にもつながります。

社長になって9年間で戦略的に取り組んできたことが、少しずつですが実を結んできています。販売、開発、管理等戦略は多岐に渡ると思いますが、これを木に例えたと枝葉だと思ひます。幹は経営理念であり事業定義です。幹がしっかりしていないと枝葉だけどんなに広げても木（会社）は倒れるような気がします。逆に、幹がしっかりしていると考えや方向性がブレないので、やるべき戦略が明確になるのではないのでしょうか。

これからも「だし屋」として、だしの魅力を伝えていく会社として成長していくつもりです。いつか「だしのテーマパーク」は作れたらいいですね。一つの大きな建物でもいいですが、八戸市内に点在する箇所を回遊するというのも楽しいと思ひます。妄想がどんどん湧いてきて自分も楽しいです。



記…高橋 利典



〒036-0114 青森県平川市町居南田170-6
TEL 0172-44-2160 FAX 0172-44-2306
<http://www.jinpachi.co.jp/>



「相手の『ふつう』を 知ることから始まる社員教育」

合同会社くらしラボ

代表社員 橘 友博 さん

所在地：青森県十和田市西十二番町 7-28

合同会社くらしラボ代表の橘さんは、2015年に地元十和田市で居宅介護支援事務所「くらしの居宅介護支援事業所」から事業をスタートし、その後訪問介護サービス「訪問介護くらすけっと」、その他サービス「生活支援サービスくらしのミカタ」、オーダーメイド型デイサービス「くらしっこ」、居宅介護支援事業所「くらしの居宅介護支援事業所」、小規模多機能ホーム「くらしの家」と複合的に展開しています。今回は、創業時から現在に至るまでの社員教育の考えを伺いました。



「あなたのふつうを 考える」

以前働いていた会社でもケアマネージャーをしており、その業務の中で利用者さんの希望に合わせるのではなく、職場のルールがありどうしても事業所側の都合に合わせなければいけないという部分にもどかしさを感じていました。地域、町内、職員どこをみてもそれぞれの“ふつう”は異なります。特に、介護の中では“ふつう”を理解することが大切で、決して押し付けてはいけなとと考えています。そこでみんなそれぞれとらえ方が異なる“ふつう”に合わせた個別ケアが出来る事業所を作りたいと思い「あなたのふつうを考える」を理念に掲げ、くらしラボを立ち上げました。

創業時からの取り組み

まずは、スタッフとの理念共有を社内勉強会や幹部研修を通じて徹底して行いました。しかし、理念の意を理解してもらえても、スタッフがどう行動してよいか分かっていないことに気づきました。一つ目の理由としては、理念だけでは漠然としすぎて、具体的な実行方法が伝わっ

ていなかったことです。それを踏まえて、相手を知るにはどんな方法があるのかを具体的に考え、どのように実行していけばよいかを資料で示して研修会を何回も開催することで徐々に本質的な部分を理解してもらえるようになりました。

二つ目の理由としては、現場で何か問題や課題が発生すると解決までのプロセス全てに私が関わっていた事です。初めはそれでよかったのですが、それを続けていくうちにスタッフ自ら考える事をしなくなり、気が付けば何をやるにもトップダウンで指示待ち状態になっていました。そこで思い切って、スタッフに



お試し入店スマホアプリ
ぶらりん@タウン
Burarin

お問合せ

株式会社サン・コンピュータ

Web <http://www.sancom.co.jp/>

青森県八戸市北インター工業団地一丁目5番10号
TEL 0178-21-1255

気になっていたお店や
行ったことのないお店で
「ぶらりんセット」を
頼んで、お試し体験！

まずは
ホームページを
チェック！





自分の強みを活かして

任せることにしました。すると、徐々に自分達で考えるようになり、今では私が思いつかなかったような、利用者さんの目線に立ったアイデアの提案が増えてきています。

私は以前からITに興味があり、パソコンも得意だったことから、その強みを活かして、スタッフの声を聞きやすくする為の社内アンケートシステムやスタッフの情報共有に社内SNSを導入し、スケジュール管理や日報業務もパソコンやスマホを活用しています。業界的にITに弱い人が多いので、どこかでやっている事を参考にするのはなく、自分で調べて良いと思ったものはすぐ導入して、実践してみても良いと思ったシステムだけ残しています。社内での情報共有やコミュニケーションがすごくとりやすくなりました。

スタッフの

成長について

くらしラボでは3ヶ月ごとにスタッフの自己評価制度を取り入れています。自己評価の方法は、大きくコミュニケーションスキル、チームワークスキル、シンキングスキル、セルフコントロールスキル、ワーキングスキルの5つに分け、各項目を細分化して自己評価をしてもらっています。その結果を基に管理者と面談を行っています。評価結果を通じて自分の得意分野や、苦手な分野が明確になり、苦手な分野に関しては、面談時に管理者と一緒にスモールステップをつくり、少しずつステップアップが図れるように支援しています。自己評価制度はスタッフ自身の成長はもちろんですが、理念が浸透しているかどうか把握できるようになりました。

スタッフの成長が分かりやすかったのは、以前同業他社で働いていた経験があるスタッフです。最初パタパタ忙しそうに動いていましたが、理念の浸透とともに利用者さんとゆっくりお話ししたり笑顔で仕事したりしている姿が多くなってきました。

「あなたのふつうを考える」は利用者・スタッフ・周りのみんなの多

様な個性を尊重する為の理念です。これからもみんなが幸せに、より良く生きる環境や場所を作っていきたいと思っています。



記…大和 英樹



ニッポンの窓をよくしたい



MADOショップ 八戸青葉店



MADO ショップは、納得できる窓リフォームのお店です。

株式会社 幾久屋

〒031-0804 青森県八戸市青葉三丁目32-17
TEL 0178-43-1192 FAX 0178-43-1104



KD 有限会社 カワシタ電業

電気工事 消防施設の設計、施工

むつ市中央2丁目21-1

TEL.0175-29-5611



釜臥山展望台からの眺め「アゲハチョウの夜景」

委員会活動紹介

経営指針委員会

委員長 附田 久志
(株)青北建設・代表取締役社長



4月から開講した第18期「経営指針を創る会」は6社が受講し、12月4日、4日の日程で最終講の発表会を行う予定です。新型コロナウイルスの影響を受けた18期ですが、オンライン講座などを駆使して講座を進めることができました。

経営指針の成文化運動の推進は、全会員の皆さんに向けた経営指針についての意識調査の位置づけでアンケートを実施しています。皆さまの回答をお願いします。また、県内各支部と合同で例会を開催し、経営指針について関心を持っていただく活動を進めています。今後、青森支部、八戸支部での開催を予定しています。

オンライン参加が可能なものもありますので、ご参加をお願いします。

共同求人委員会

委員長 花田 仁
鈴木建設工業(株)・代表取締役社長

人口減・少子化に伴う学級減、そして求人難。景気の良し悪しとは別に人材不足に陥っている現状で企業の大小を問わず共通する課題となっています。



目的を「人づくり・企業づくり・地域づくり」とした共同求人委員会は、今年度パイロット事業として青森大学のインターンシップを実施し、受け入れ企業並びに参加した学生に大きな成果をもたらしました。求人・採用のプロセスの中に「人づくり・企業づくり・地域づくり」の大切さを実感すると共に、地域社会の発展に欠かせない存在を育てる必要性を強く感じています。

求人情報誌「Win2023」も69社の申し込みを頂き発行を進めており、同時に動画配信による企業紹介も導入したいと考えています。

委員会としては若い感性での活動で、より盛り上げていきたいと考えますので委員の方々はじめ会員企業の皆様の参加、お手伝いをお願い致します。

「人を採る」から「人を育てる」企業を目指すと共に、同友会を通し各企業の継続・発展を進めていきたいと思っています。

社員共育委員会

委員長 石澤 暁夫
(株)エーアイサイン・代表取締役

3回シリーズで岡部あゆみ氏による中堅社員さん向け研修を開催しました。11社から14名が参加し、有意義な研修となりました。

初回はコミュニケーション講座。社員同士の人間関係をスムーズに行う考え方を学びました。2回目は見学講座で3Sの取り組みを実際に見学し講義も交え学びました。3回目は振り返りと今後の具体的な取り組みを話し合いました。各回ともディスカッションも取り入れて学びました。参加者の皆さんには得た知識を自社で実践してほしいと願います。

今回の研修会は5月から委員会検討を重ねて練り上げました。今後も社員さんに多くの気づきを得てもらう、社内でも活かせるよう多様な研修を実施していきたいと考えています。



産業廃棄物収集運搬・処分業
建築・土木・管工事業



青森県上北郡東北町字柳沢59番地21

東管工業株式会社

代表取締役 蛸沢 宮 行

TEL 0175-63-4450

FAX 0175-63-4467

委員会活動紹介

共に生きる 障がい者問題委員会

副委員長 蛭沢孝行
東管工業(株)・取締役

障がい者雇用への理解を深める活動を行い、就労の推進、就労困難者の支援、同友会が掲げる「人を生かす経営」の実践により全ての人が生き生きと働くことができる社会の実現を方針として活動しています。

その方針のもとに「障がい者雇用を知る・考える」シリーズセミナーを行い、3回目として「支援施設見学＆利用者トークセッション」を就労サポートセンター『さつき』（平内町）で11月9日に実施しました。

今後もセミナー等を実施し、企業と障がい者が互いに理解し受け入れる環境をつくり、障がい者雇用とは今までの企業活動の積み重ねの1つであるだけでなく、新しいことではないと周知していきます。



広報委員会

委員長 大和英樹
(株)マルヤマ・代表取締役

広報委員会では、10月14日に委員会を開催しました。内容は委員会版DOYUあomorい（12月号）に掲載する内容について話し合いを行いました。

企業紹介の記事に関して前回の企業紹介でもっと取材内容を掲載したかったという意見が出たので、12月号は1.5ページから2ページに増やすことにしました。また、全体的に写真が多い方が読みやすいという意見やSNSを上手く使ってできないか等様々な意見が出ましたので、今後の議題に上げ内容を詰めていきます。

青森同友会のホームページからバックナンバーをご覧いただけます。



女性部会

部長 岩木節子
(有)岩木建設・専務取締役

10月19日、秋田同友会のガーデンカフェ&デリカテッセンKimotoの代表・木元千恵子氏を迎えてオンライン例会を行いました。養豚業を営んだ祖父の「木元精肉店」から、今は仙北平野の田園風景の真ん中に突如現れる花いっぱいガーデンカフェは、お客様の五感をくすぐる仕掛けでどんどん進化しています。

隣接した農地で家族が力を合わせて食材を作り、カフェのテーブルには「美味しさ」の詰まった料理が並びます。木元さんはネットでの展開の他、社会活動や地域の循環をつくる活動にも積極的に取り組んでいます。報告は常に笑顔笑顔のシャワー。参加者22名を明るく元気にして頂きました。



はネットでの展開の他、社会活動や地域の循環をつくる活動にも積極的に取り組んでいます。報告は常に笑顔笑顔のシャワー。参加者22名を明るく元気にして頂きました。

Oct, 有限会社 オクト

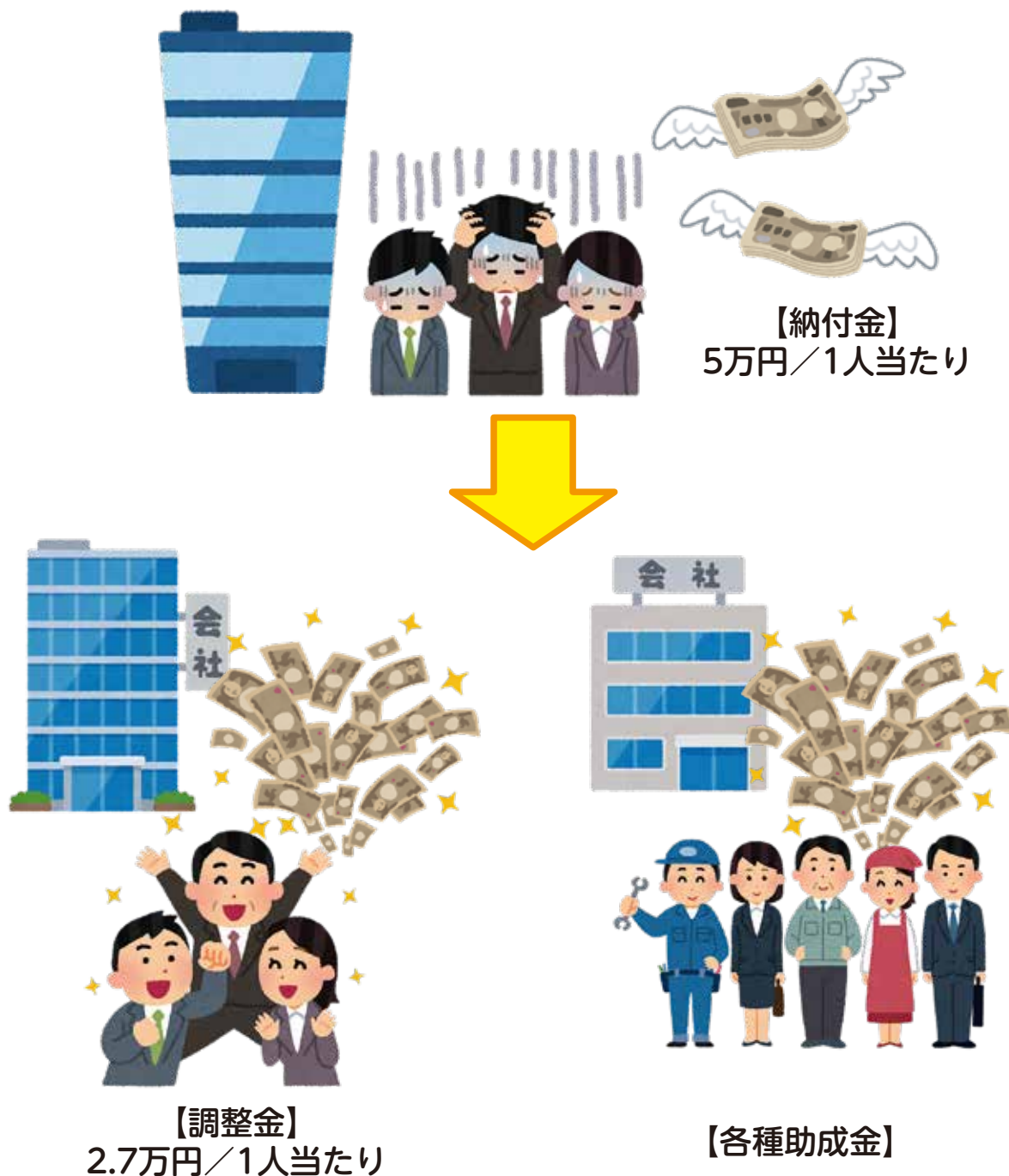
青森県知事許可（般-24）第100121号
〒030-0852 青森市大字大野字鳴滝87-14
TEL:017-762-5223 FAX:017-762-5224

◆事業内容◆

- 内装仕上工事（軽鉄・ボード・床・クロス）
- タイル・石工事
- ビル・住宅リフォーム工事

【共に生きる障がい者問題委員会コラム 障害者雇用のポイント②】

◎雇用率未達成企業(常用労働者 100 人超)から納付金を徴収し、雇用率達成企業に対して調整金、報奨金が支給されます。また、障害者雇用の促進等を図るための各種の助成金としても支給されています。



⇒雇用率未達成企業に対する罰則としては、納付金徴収のほか、ハローワークによる行政指導等が行われます。改善がなされなければ、企業名の公表なども行われます。各種相談窓口や助成金等の制度を利用して、障害者雇用を計画的に進めていきましょう。

◎どんな制度があるのか、どんな機関・窓口があるのか、どんなサポートが受けられるのか
障害者雇用における疑問や困りごと、各種相談など、お気軽にご連絡ください
～『共に生きる障がい者問題委員会 よろず相談窓口』まで～

Welcome to DOYU!

新会員紹介



【上十三支部】
(株) LOCO-SIKI
代表取締役社長
芝崎 寿一郎

ココロとカラダを元気にする。
青森県産をはじめ厳選した食材を使用した食の専門店他、レストラン、
スポーツジムなどを運営しております。

〒034-0012 十和田市東一番町 10 番 9 号
TEL:0176-58-6951 FAX:0176-58-6952
URL:https://365.loco-siki.co.jp/



【津軽支部】
(株) 工藤工務所
専務取締役
工藤 晋一郎

一般住宅の建設から、リフォーム、公共工事まで、なんでも手掛
けながら、皆様と共に地域貢献していきたいと思ひます。

〒036-8243 弘前市大字小沢字大開 401-5
TEL:0172-88-2727 FAX:0172-88-1180
URL:http://kudou-sk.jp/



【下北支部】
(有) 昭和水道
代表取締役
木村 孝之

<地元、地域密着型ライフライン、水道・設備業>
お客様には常に喜んでもらえる仕事を従業員共々心がけております。

〒035-0084
むつ市大湊新町 9-40
TEL:0175-24-3162 FAX:0175-29-4832



【青森支部】
フィリップ・モリスジャパン(同)
青森営業所
所長
佐藤 和彦

フィリップ・モリス社製品のマーケティング・販売促進活動を行っていま
す。「煙のない社会をここ日本で」をビジョンに掲げ、変革に取り組んでい
ます。喫煙環境ソリューションでより良い労働環境構築にも貢献します。

(本社) 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-11-1
TEL: 03-3509-7990
URL: https://www.pmi.com

随時 会員募集中!

*** 編集後記 ***

早いもので2021年も1ヶ月を切りました。忘年会等
の予定は減りましたが、忙しさは変わらないような気が
します。今回のDOYU あおもりは、会員の素晴らしい
取り組みをより多く掲載するために企業紹介のページ
をさらにボリュームアップしました。DOYU あおもりで
企業紹介してほしい会員さん募集しておりますので、
お近くの広報委員まで!!

有限会社 ローズリー資源 <http://www.rozure.com/>
廃棄物業・総合リサイクル業

本社/〒030-0955 青森県青森市大字駒込字深沢5-303
TEL 017-744-0575 FAX 017-744-0579
南部支店/〒039-1524 青森県三戸郡五戸町大字豊間内字地藏平1-578
TEL 0178-38-9294 FAX 0178-38-9295